

第7組インターシティ・ミーティング報告

大阪南西RC 会長 **小池廣子**

IM実行委員長 **小森敏鑑** (大阪南西RC)

テマ：伝えよう奉仕、築こう絆 Service must go on!

ホストクラブ：大阪南西ロータリークラブ

日時：2014年2月1日(土) 13:00～16:00

場所：スイスホテル南海大阪「芙蓉の間」

参加者数：191名

出席者：209名(RAC20名、青少年17名含む)

私たち大阪南西RCが、IMのホストを務めるのは2回目です。

テーマの選定と講演会の講師の選定に時間がかかりました。テーマは現在の若者が人を助けたいという思いをもっている割合が高いという話を知り、若者と奉仕や支援活動について話し合い、ロータリーの活動を知ってもらい社会を少しでも良くしてもらおうと思い「伝えよう奉仕、築こう絆 Service must go on!」としました。幸いIM7組にはRCと志が同じのRACが3つあります。隼より始めよ、と声をかけたところ友人も含めて40名近く集まってくれました。

講師には小池会長の紹介で西成消防署長の木村忠彦氏に講演をしてもらいました。木村署長は、東日本大震災の時、大阪府消防隊の災害支援の隊長を務め、石巻の現場での救援活動を指揮され、後の福島第一原発への冷却水投入の作業も参加されました。署長は「大災害にそなえて～生き残るために～」と題して災害の悲惨さと自らの命を守るすべ、そして迫りくる南海トラフ地震への対策などの話をいただき、会場のすべてのロータリア

ン、青少年に感動と教訓を与えてくれました。

続いてのテーブルディスカッションは「今までの人生または、ロータリー活動で一番感動した事はなんですか」と「今日の木村署長の講演で、どの部分に感動、共感しましたか」のいずれかのテーマを各テーブルで議論していただきました。テーブルに2人の若い人たちが混じり、ロータリアンの経験、また若者たちの奉仕に捧げる熱い思いが語られ、短い時間でしたが会場はざわめきが沈黙に変わるという不思議な一体感がありました。会員にはRACの活動や若者の生の声が一般の若者にはロータリークラブの社会に対する真面目さが伝わったのではないのでしょうか。

閉会の挨拶のあとの手に手つないでの合唱にその息吹を感じました。

最後に今回のIMは7組各クラブの会長、幹事の皆様の協力がなければ成功することはありませんでした。改めて感謝申し上げます。特に難波RC、なにわRCの会員の皆様には受付や誘導などのお手伝いをいただき、熱い友情を一段と感じました。有難うございました。

